

ドラクエ11にモンスターズって……。

光車

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

たまたまドラゴンクエストの世界に転生してしまったレキ。

彼はモンスター達の力を借りて、勇者達を手助けする！

目次

成人の儀式	1
しばしの別れ	6
黒エ……。	12
19 リリ強すぎ。あとブラックドラゴン	

成人の儀式

異世界転生。

正直言ってもどうかと思うけど、現実見なきやいけない。

なんでかって？

僕は、どうやらドラクエーの主人公の幼馴染として転生してしまったようです。

イシの村に。

生まれた日は違うけどね。

……記憶は曖昧。

覚えているのは元々地球にいた事。

このゲームをやった事がある事。

そしてこのゲーム以外の事。

曖昧になつてるのはこのゲームの進み方。

だから、一応主人公についていくことにしよう。

九年後。

成人の儀式が今日ある。僕は山に足を踏み入れた。

「なんで魔物が……?」

魔物がいないはずなのに、そこには魔物がいた。

「ピキィー!」

一匹の少し大きいスライムが近寄ってくる。

そして僕に擦り寄る。

ライム ♂ L V 1 R A N K : S S + ★

H P : 1 7 9 / 1 7 9

M P : 7 9 / 7 9

攻撃力 : 1 0 4

守備力 : 9 5

すばやさ : 1 1 8

かしこさ : 1 0 2

スキル

スラフオース 1 0 0

攻撃力アップ S P 6 2

H P アップ S P 1 3

経験値：0 Next 2

え……。

コイツ、まさか。

新生配合スライム!?

ヤバくない?

この世界にそれ入れたらステータス的に崩壊しかねないよ?

だってこの世界に新生配合キャラクターって無茶苦茶強いもん。

例えばこの子のようにスライム。

テンションバーンが発動しやすいし、HPも余裕で千を超える。

スキルも三つ覚えられるから、最強メラ&イオとか覚えさせたら魔法が最強。

この子みたいに、攻撃力アップSPとか付けるとステータスが種族に対してインフレ

気味になる。

……。

まあ、懐かたしいつか。

その時、僕の右手の中指が白く光る。

そして、その光の中にライムが吸い込まれる。

……なんだっただろ。

その後、僕は頂上まで登った。

綺麗だった。

あんなに綺麗な景色、見たことなかった。

多分前世でも。

……多分って言うのはもう記憶がほぼ無いから。

年数が進む毎に記憶が薄れていく。

残ってるのは、モンスターの記憶だけ。

ゲームの記憶しか残っていない。

悲しいことだけど。

でも、データしか覚えていないけど、それでも前世があると、そう証明してくれたラ

イムに、感謝しよう。

だって、あれは僕が作ったモンスターの一体なんだから。

数週間後。

今日は、イレブンとエマの誕生日であり、成人の儀式の日だ。

……心配なので、ライムをこっそりついでに行かせる。

「じゃあ、行つてくるよ」

「また後でね！」

そして、神の岩に行く二人。

……………何もなければいいけど……………。

イレブン達が帰つてきた。

やっぱり色々あつたみたいだ。

幸いライムが手助けする程の事はなかったらしいけど。

僕が行つた時はヘルコンドルなんていなかったんだけど……………。

ま、いつか。

幸い何かがあつたと言うわけでもなさそうだし。

しばしの別れ

その後、僕とイレブンは外に出た。

どうやらイレブンは勇者の生まれ変わりらしい。

だから、デルカダール王国に行くらしい。

僕もついて行きたいけど、

「ダメよ。レキはここにいなさいー」

と言われてしまった。

とりあえず、ライムのレベルを上げよう。

そして、こうなった。

ここに全てのステータスを書こう。

ライム ♂ Lv5 RANK:SS+★

HP:218/218

MP:99/99

攻撃力:126

守備力：119

すばやさ：150

かしこさ：130

Exp：34 Next 22

装備品：装備していない

種族名：スライム

会心出やすい

デイン系のコツ

一族のほこり

AI 1〜2回行動

強ガードブレイク

スタンダードボデー

自動HP回復

スキル

★ スラフオース 100

攻撃力アップSP 62

HPアップSP 13

メラ：普通 ギラ：無効 イオ：半減 バギ：普通 ヒヤド：普通 ジバリア：普通
 デイン：無効 ドルマ：弱点

ベタン：普通 炎：普通 吹雪：普通 ザキ：普通 どく：普通 呪い：半減 マイ
 ンド：普通 こんらん：普通

マヒ：無効 ねむり：普通 マヌーサ：無効 マホトラ：弱点 ハック：普通 呪文
 封じ：無効 斬撃封じ：普通

体技封じ：普通 息封じ：普通 踊り封じ：普通 ダウン：半減 ルカニ：普通 ボ
 ミエ：弱点 フール：普通

★スラフオース

メラ

ホイミ

デイン

たいあたり

まぶしい光

ダウン

ベホイミ

マホヤル

自動HP回復

攻撃力アップSP

攻撃力+2

攻撃力+4

攻撃力+8

HPアップSP

HP+2

残りスキルポイント：36

こんな感じだ。

スキルポイントは振らない。

なんでもかかって言うと、スキルポイントは通常スキルならいいけど、アップSPとかはレベルが上がってからじゃ無いと勿体無いから。

……あと、他に僕のレベルも上がった。

レベル3になったし、スキルポイントが3あるのだ。

だから、スキルを手に入れよう。

僕のスキル版は、盾、双剣、剣、魔物使い。

とりあえず、双剣を上げようと思う。

だって、スキルポイント3で二刀流覚えられるんだからしょうがないよね？

本来ならこんなにすぐに手に入りはしないけど、双剣スキルの性質上仕方ないものだね。

ボードみたら、なんかこの世界にない、ギガクロスブレイクとか、双剣じゃないと出来ない技があつた。

なるほどこの為か。

とりあえず、良かった程度に思つて置こう。

そして、数日後。

「ここが勇者を育てた村か？」

「そのようです」

「ならば、やれ」

「ハッ」

なんか来た。

そして、なんか物騒な事を………えっ！

なんで！

「ライム！行くよー！」

ライムを召喚して、行動する。

「ビキィー……！」

周りに呪文のエフェクトが出る。

そして、メラが兵士に飛んでいく。

兵士達全員が吹き飛んだ。

「……………え？」

「……………は？」

そして、金髪の一際強そうな人と視線が合う。

「……………お前か！」

ひとつ飛びでこっちに来る。

あと一歩。

剣が刺さりそうになる。

『ふん！』

直前で、そいつが吹っ飛ばされる。

「……………え？」

『そんな阿呆な顔をしているでない。主よ』

そこには、この世界にいない筈の『黒竜丸』がいた。

黒エ…………。

ちよ、は？

何やってんの!?

そいつ、黒がやった事はメドロア。

その影響で村が吹き飛んだ。

……………見覚えのある光景になっちゃったじゃないか。

あれ？

どこでみたんだろう？

まあ、みんな生きてるし良かった。

……………つて！

「あいつを捕らえろ！」

金髪頭がそう命令を下す。

そして、兵士達がこちらに来る。

……………逃げるしかないか！

『ぬ、主!?!』

黒も一緒になって逃げる。

……ああ、レベル1だからまだ全員を一度に相手するときついんだね。

まあ、逃走した。

途中、キャンプ場があったからそこで寝た。

翌日。

村が気になる。

どうなったのか。

大体は予想がつくけど。

村に着く。

そこには、何もなかった。

燃え尽きた村があるのみ。

一部黒による破壊跡があるのは……まあ、見ないことに。

「……………」

でも、それ以上に重要なのは。

僕の家族が生きているかどうか、だ。

家に向かう。

そこは、もちろん焼け落ちていた。

家には、誰もいない。

けど、焼死体も無かった。

……これじゃあ、死んだかどうかは分からないじゃないか。

「……………じゃあ、ね。みんな」

僕は村を後にした。

イレブンが通っていった道は、デルカダール兵によって固められていた為、東のイシの大滝からナプガーナ森林を通って、デルカダール城を目指す。

流石に城前は警備が厳しいよね。

なんで知ってるかって？

……………あれ？

なんでだろう。

ナプガーナ森林に入った直後のところに橋があつたはずなんだけど。

落ちてる。

なので黒に乗って乗り越えました。

先に進んだところで、

「ゴロロロ！」

なんかベビーパンサーが来た。

キーラ ♂ Lv1 RANK : S S + ★

HP : 404 / 404

MP : 78 / 78

攻撃力 : 140

守備力 : 225

すばやさ : 122

かしこさ : 183

Exp : 0 Next 3

装備品 : 装備していない

種族名 : ベビーパンサー

スキル

★ けもの道 100

守備力アップSP 62

★ 最強バギ&ヒヤド 150

スモールボデー

れんぞく

タメトラ攻撃

会心出やすい

くじけぬ心

A I 2 ～ 3 回行動

自動HP回復

メラ：半減 ギラ：弱点 イオ：無効 バギ：無効 ヒヤド：軽減 ジバリア：普通

デイン：弱点 ドルマ：普通

ベタン：普通 炎：普通 吹雪：普通 ザキ：半減 どく：普通 呪い：普通 マイ

ンド：半減 こんらん：普通

マヒ：普通 ねむり：弱点 マヌーサ：無効 マホトラ：普通 ハック：普通 呪文

封じ：普通 斬撃封じ：普通

体技封じ：無効 息封じ：普通 踊り封じ：無効 ダウン：弱点 ルカニ：普通 ボ

ミエ：半減 フール：弱点

★けもの道

ハートブレイク

すなけむり

だつりよく斬り

たいあたり

しつぷうづき

なめまわし

おたけび

魔神斬り

自動HP回復

守備力アツプSP

守備力+4

守備力+8

守備力+16

★最強バギ&ヒヤド

ふうじん斬り

ブリザラツシユ

バギムーチヨ

マヒヤデドス

バギガード+

ヒヤドガード+

……。

お前か！

ああうん、納得だわ。

頭を撫でる。

気持ちよさそうにするキーラ。

そのうち、中指が光り、キーラが吸い込まれた。

リリ強すぎ。あとブラックドラゴン

ねえ。

この子はリリパットのリリ。

リリパットだから弱い。

………筈。

筈だったんだ。

なのに。

リリ ♀ Lv1 RANK : S S + ★

HP : 507 / 507

MP : 282 / 282

攻撃力 : 207

防御力 : 329

すばやさ : 335

かしこさ : 289

Exp : 0
Next 6

装備：装備していない

種族名：リリパット

スキル

★ アツパー 100

★ 最強メラ&デイン 150

禁断の魔道書 203

スモールボデー

どくブレイク

メラ系のコツ

どく攻撃

会心出やすい

みかわしアツプ

メラ：回復 ギラ：普通 イオ：普通 バギ：普通 ヒヤド：半減 ジバリア：普通

デイン：軽減 ドルマ：普通

ベタン：普通 炎：普通 吹雪：普通 ザキ：無効 どく：普通 呪い：普通 マイ

ンド：普通 こんらん：半減

マヒ：弱点 ねむり：普通 マヌーサ：普通 マホトラ：無効 ハック：普通 呪文

封じ：無効 斬撃封じ：普通

体技封じ：半減 息封じ：普通 踊り封じ：普通 ダウン：普通 ルカニ：普通 ボ

ミエ：半減 フール：弱点

★アツパー

ホイミ

ピオラ

スカラ

インテ

バイキルト

ピオリム

スクルト

インテラ

バイジオン

ベホイミ

★最強メラ&デイン

れんごく斬り

ホーリーラツシュ

メラガイアー

ジゴデイン

メラガード+

デインガード+

禁断の魔道書

冥界の霧

ギガ・マホトラ

レクレイムの笛

メドローア

メガンテ

パルプンテ

晴天の霧

幻魔の獄

………みんなはこれ、どう思う？

強すぎると思わないかい!?

いや、こんな化け物性能のキャラクターって生まれるんだねえ。(遠い目)

………マジでやばくない？

これ成長したらやばい気がする。

そもそもスモールボディとみかわしアップのコンボで攻撃ほとんど当たらないし。こつちのパーティーで勝つ方法は、黒竜丸のやみのはどうで異常状態嵌め殺しのみ。強いって！

ヤバイ子。

レクレイムの笛で即死効果も出せるし。

…………ヤバイ。(語彙力)

まあ、とにかく行こう。

『イコウ』

ちなみにこいつ、喋れたりする。

…………どこに行こう。

そう思ってた時。

『……………？何か強そうな気配があったな。主よ、どうするか？』

……………へえ。

行こうか。

……………。

――GROOOOOO!

!

これか!

『主!』

うん!

こつちに二人向かってくる。

その後ろには、ブラックドラゴン。

「おい、逃げろ!」

「生憎だけど、僕はそいつを倒しに来たんだ!」

「んな!」

駆け出す。

「行くよ!みんな!」

――GRAAAAAA!

即座に剣を抜く。

二刀流による二回攻撃。

流石にダメージは通らない。

けど。

『メドロアア!』

こいつらなら、通る!

400強×2

「ライム!たいあたり!」

「ピッキーー!」

っズドン!

200強

反動ダメージ90強

最後!

「キーラー!バギムーチョ!」

「グロリアアア!」

風がブラックドラゴンを襲う。

300強。

ブラックドラゴンは倒れた。

よし。

OK!